



## 「良書ご案内」

書籍名	危機の地政学	著者名	イアン・ブレマー
出版社名	日本経済新聞出版	発行年月	2022年10月

ブレマーの仕事は、世界の構造的変化を読み解き、危機を予測して時代の「キー・コンセプト」を提示することだ。中国、ロシアなどの国家ぐるみの政治経済体制を指摘する「国家資本主義」、第2次世界大戦後、世界の安全保障を担ってきたアメリカだが、オバマ大統領が「世界の警察官をやめる」と宣言したことによるリーダー不在の世界を指摘した「Gゼロ」、アメリカの民主党と共和党による政治的分断、上位10%がアメリカの富の70%以上を所有する貧富の差による分断を指摘した「分断と対立」などがある。

ブレマーは、現在我々は3つの世界的危機に直面していると考えている。

1. パンデミック：新型コロナウイルスの経済的、政治的、社会的影響を払拭できずにいるばかりか、世界は今後も危険なウイルスに長く苦しめられる。
2. 気候変動：何十億人もの人々の暮らしを一変させ、地球上の生命の持続性を脅かす。世界的な干ばつ、洪水、山火事、食糧危機、水没地域の拡大、それに伴う難民問題が進行する。
3. 破壊的な技術が生み出すリスク：無人機ドローンの自律型兵器の普及、テロ集団による無差別な攻撃 次の戦争は空母や戦闘機、長距離ミサイルからサイバー戦争へと移行する。

上記危機への対応を難しくしている2つの現状

## 1. アメリカ国内政治の崩壊

トランプのアメリカファーストにみられる自国中心主義の台頭。アメリカ国民は民主主義のために遠く離れた外国で、自国の若者の犠牲を望まない。経済回復、雇用創出、銃規制、教育、テロ対策、国境整備、人種差別、国民健康保険制度などの国内問題に正面から取り組んでほしい。

## 2. 米中の対立

米中は、「新たな冷戦に突入した」ためにパンデミック、気候変動など世界が協力して取り組まなければ対応できない地球全体の問題への国際協力を難しくしている。

## ブレマーの提言

ロシアのウクライナ侵攻で、西側諸国がかつてないほど緊密に協力し合っている。

「危機を利用」して、国際協力を深め、これから世界的感染がほぼ確実に予測されるパンデミック、気候変動等の課題を正しく認識して、世界を協力関係の強化につなげるかは、大袈裟ではなく地球存亡のための必須事項と考えている。

日本においても今後起こる危機を予測し、国民全体が認識を高め、対処するための知恵を絞りたい。財政危機、食糧自給率、少子化、働き手不足、エネルギー問題、中国との関係、安全保障、南海トラフ地震、ほぼ確実に再来すると予測される各種感染症など。今こそ日本にもブレマーの存在が強く求められる。

岩城

とうとう天声人語に「チャットGPT」の言葉が登場(2023.2.23)した、ご存じの方もそうでない方も簡単に解説を！  
要は対話型の人工知能(AI)。利用者が質問を入力すると、人間と会話するように自然な答えが返ってくる、  
チャットボット(自動応答システム)。対話に特化したAIで、昨年11月末の無料公開から2月で1億人が利用  
したとか。このAIの進化は「検索」にとって代わるのか？検索部門で大きな収益を挙げているGoogleには脅威だ。



当然、教育現場では大きな波紋が広がっている。ある教授は「AIはどんどん賢くなり近いうちにAIが書いたかどうか判断できなくなる」とも。だが、現時点では偽情報を生んだり、フェイクニュースに繋がる恐れもあり要注意！

私たち、1人1人のリテラシー(使いこなす能力)が試されており、勃興期・過渡期に今まさに立ち会っている感覚だ。

発行所：株式会社ライフデザイン研究所

所在地：〒541-0048 大阪市中央区瓦町3-4-87サビ 2F Tel 06-4708-6844 Fax 06-4708-7067 編集人 伊藤

